

三原市長期総合計画策定に関する市民アンケート調査について

1 調査対象及び調査方法

調査対象：市内在住に16歳以上の男女6,000人

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

調査方法：郵送配付，郵送回収

調査時期：平成25年10月23日から11月13日まで

2 回収状況

配付数：6,000通（人口構成比送付分4,258通，地域別分析分1,742通）

有効回収数：2,682通

有効回収率：44.7%

	人口構成比分	地域別分析分
有効回収数	1,793通	2,682通

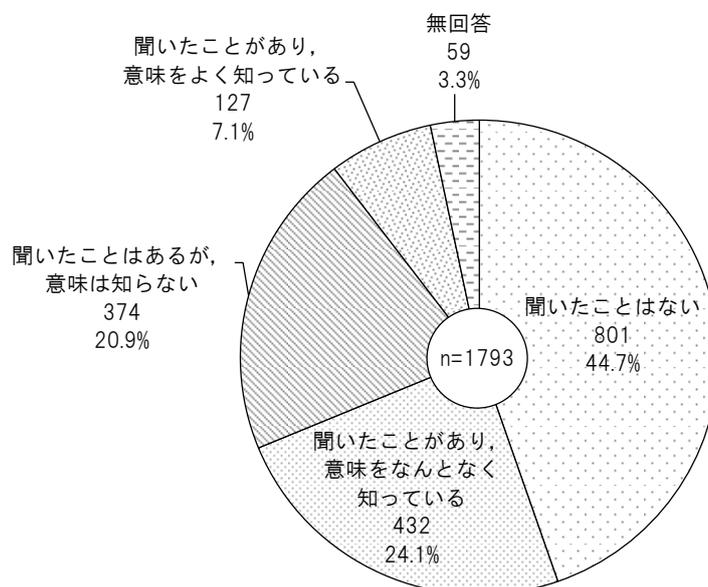
3 集計結果及び過去の調査比較

4 市民協働のまちづくりについて

設問17 あなたは「市民協働のまちづくり」という言葉を聞いたことがありますか。

『市民協働のまちづくり』という言葉に「聞いたことはない」の割合が44.7%と最も高くなっている。一方で、言葉を聞いたことがある人の割合（「聞いたことがあり、意味をよく知っている」、「聞いたことがあり、意味をなんとなく知っている」「聞いたことはあるが、意味は知らない」の3回答の合計）は52.1%となっている。

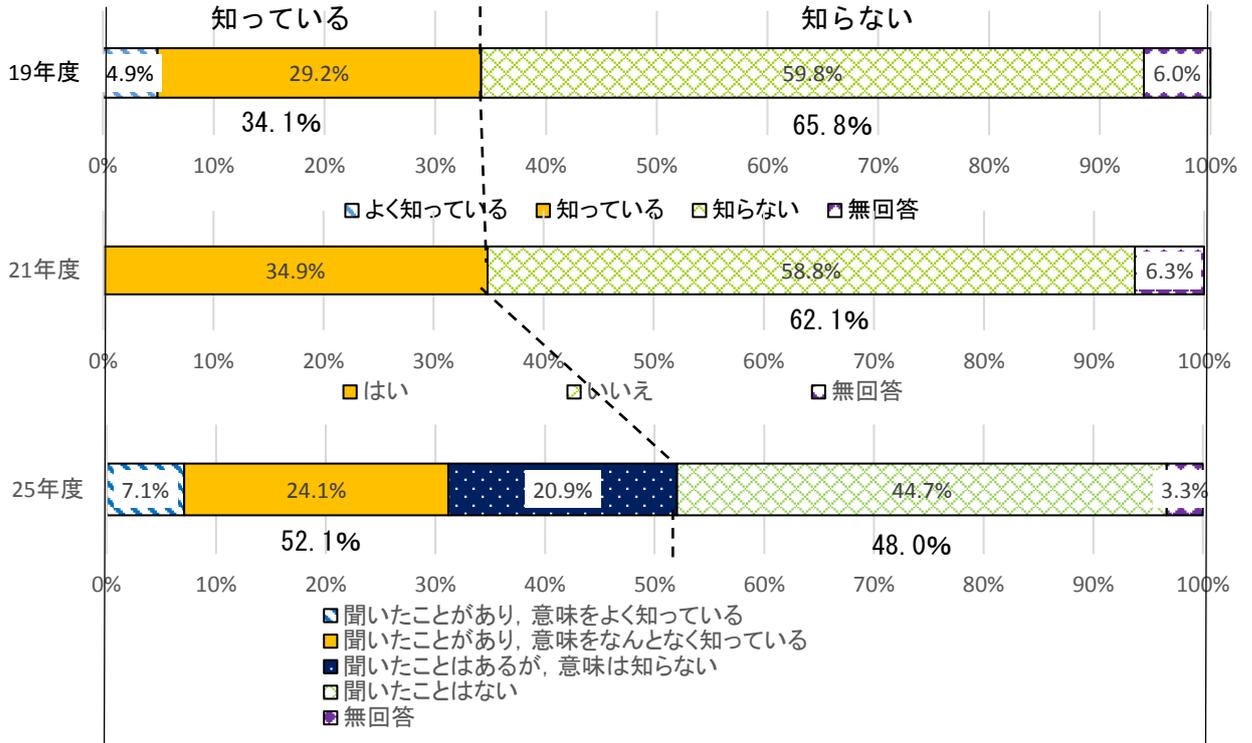
	件数	%
全体	1793	100
聞いたことがあり、意味をよく知っている	127	7.1
聞いたことがあり、意味をなんとなく知っている	432	24.1
聞いたことはあるが、意味は知らない	374	20.9
聞いたことはない	801	44.7
無回答	59	3.3



〈前回調査との比較〉

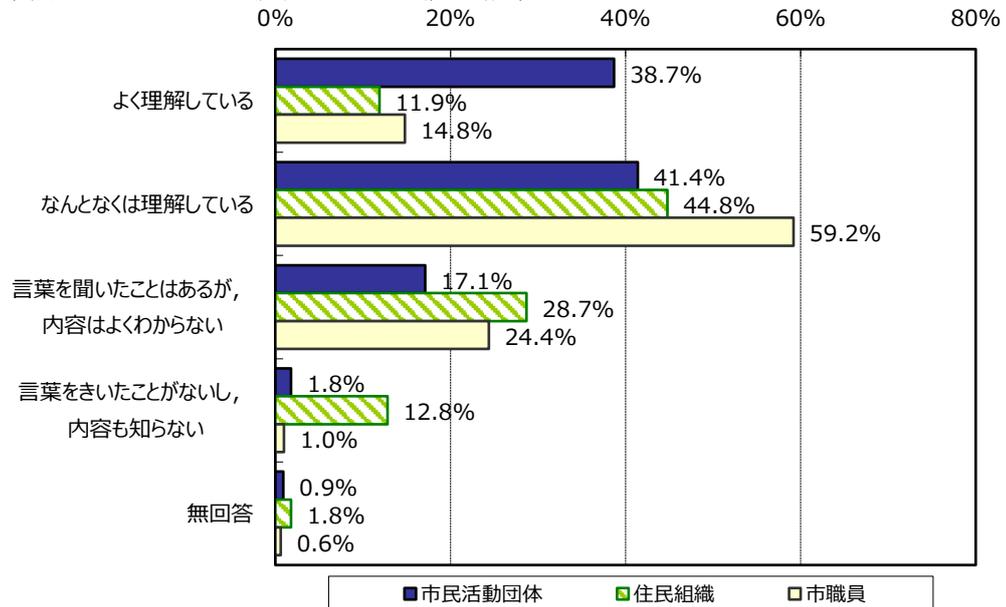
○平成 19 年度市民協働のまちづくり指針策定のための市民アンケート調査結果

○平成 21 年度三原市長期総合計画後期計画策定に係る市民アンケート調査結果



図：平成 19・21・25 年度市民アンケートにおける共通設問比較

○平成 23 年度アンケート共通設問における調査結果



図：平成 23 年度住民組織，市民活動団体及び職員アンケートにおける共通の設問比較

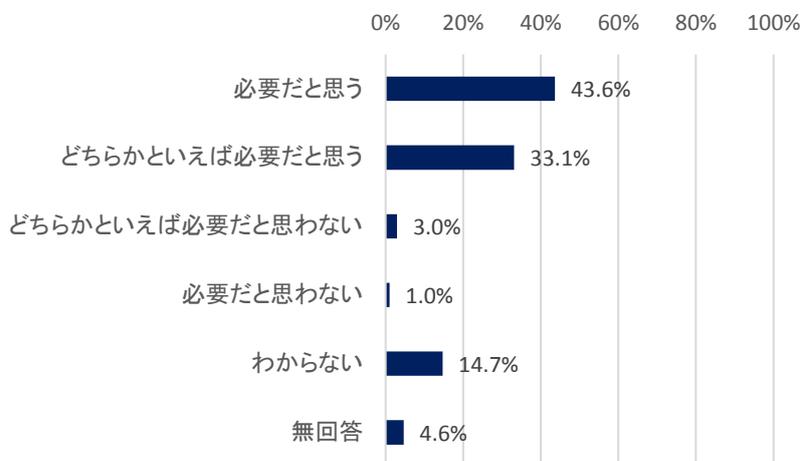
表：平成 23 年度住民組織，市民活動団体及び職員アンケートにおける共通の設問比較

	知っている	知らない
市民活動団体	97.2%	2.7%
住民組織	85.4%	14.6%
市職員	98.4%	1.6%

設問 18 三原市において、市民協働のまちづくりを推進していくことについてどうお考えですか。

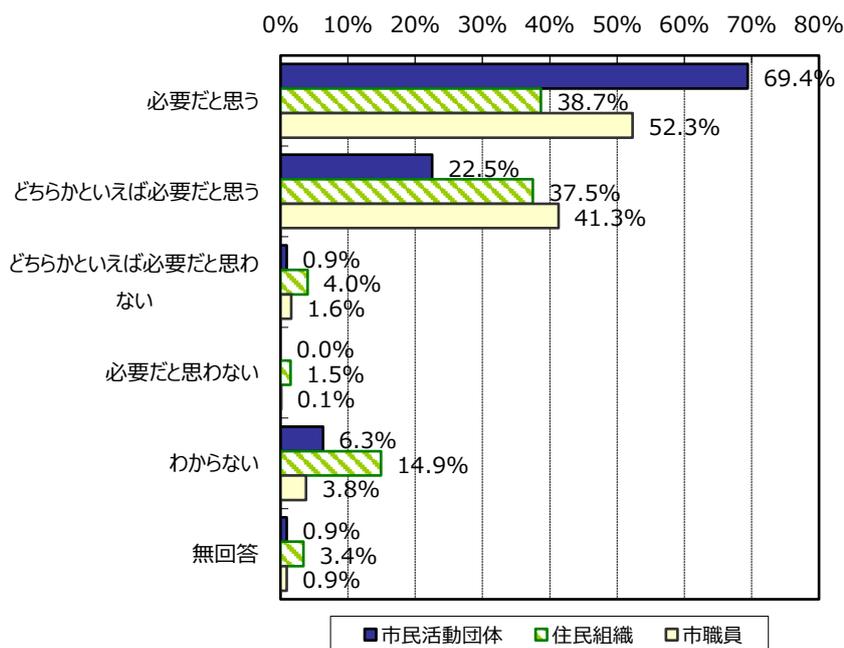
市民協働のまちづくりを推進していくことは「必要だと思う」という回答が最も多くなっている。必要だと考えている人の割合（「必要だと思う」、「どちらかといえば必要だと思う」の2回答の合計）は76.7%を占めている。

	件数	%
全体	1,793	100
必要だと思う	782	43.6
どちらかといえば必要だと思う	594	33.1
どちらかといえば必要だと思わない	53	3.0
必要だと思わない	18	1.0
わからない	263	14.7
無回答	83	4.6



<前回調査との比較>

○平成 23 年度アンケート共通設問における調査結果

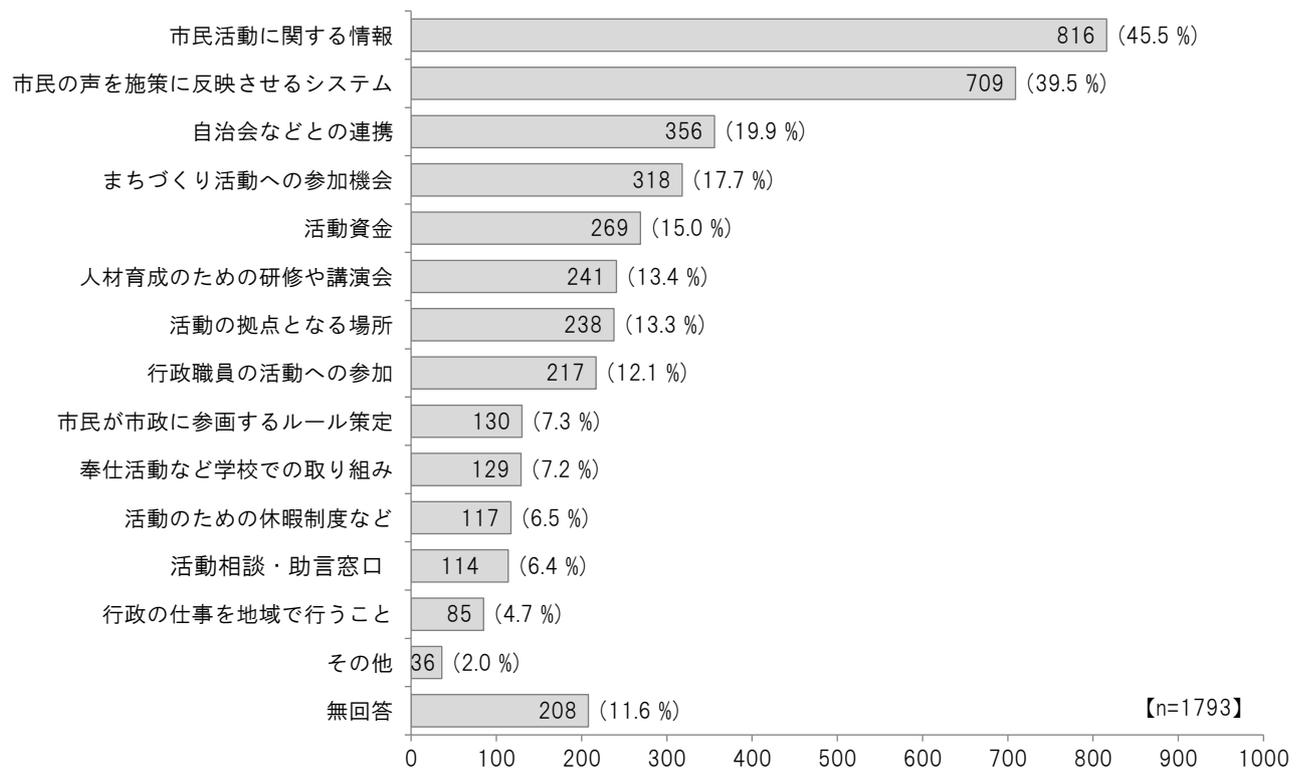


図：平成 23 年度住民組織，市民活動団体及び職員アンケートにおける共通の設問比較

設問 19 あなたが「市民協働のまちづくり」に取り組むためには、何が大切ですか。

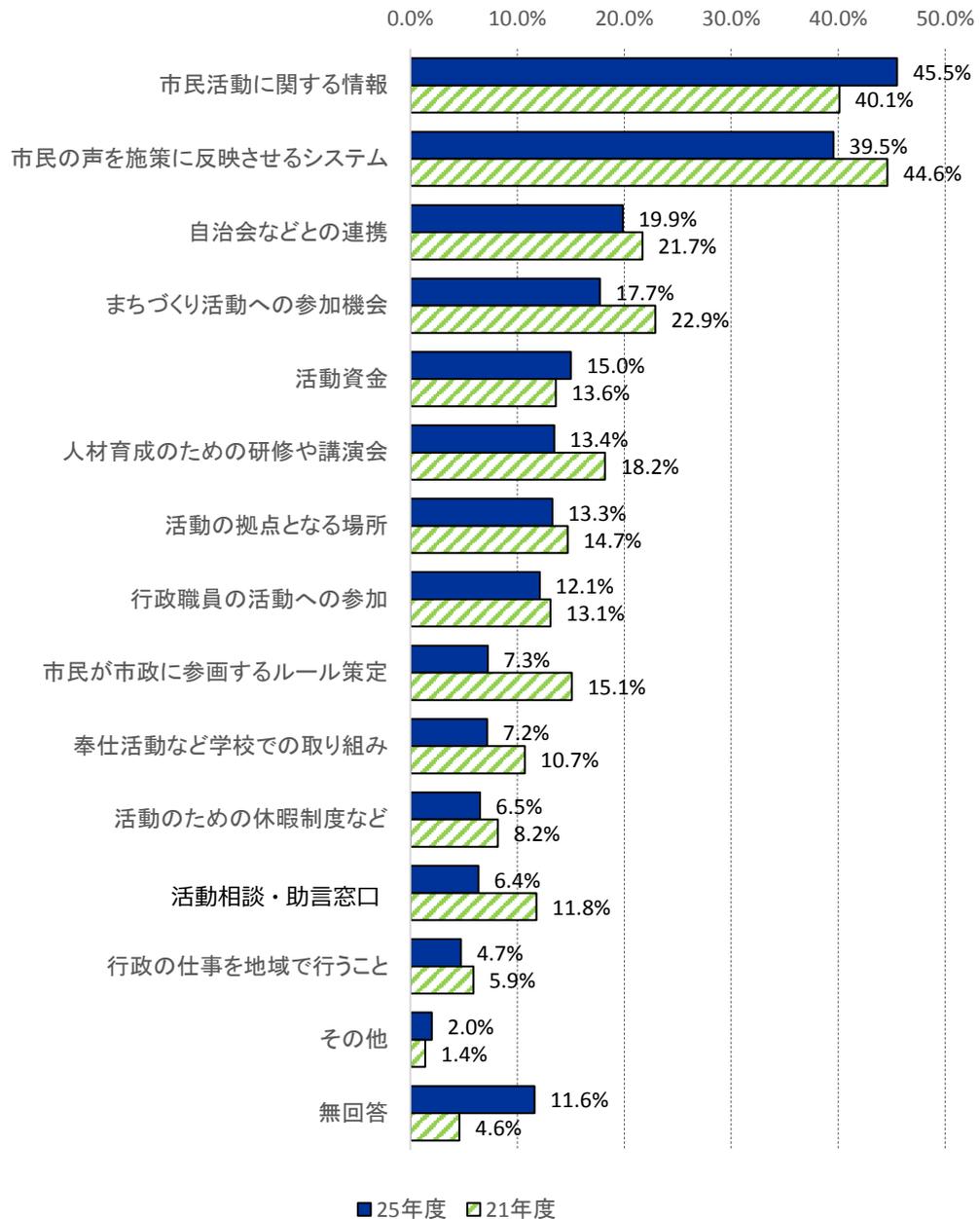
「市民活動に関する情報」、「市民の声を施策に反映させるシステム」の2項目の割合が高くなっている。次いで「自治会などとの連携」の割合が高くなっている。

	件数	%
全 体	1,793	100
市民活動に関する情報	816	45.5
市民の声を施策に反映させるシステム	709	39.5
自治会などとの連携	356	19.9
まちづくり活動への参加機会	318	17.7
活動資金	269	15.0
人材育成のための研修や講演会	241	13.4
活動の拠点となる場所	238	13.3
行政職員の活動への参加	217	12.1
市民が市政に参画するルール策定	130	7.3
奉仕活動など学校での取り組み	129	7.2
活動のための休暇制度など	117	6.5
活動の相談・助言窓口	114	6.4
行政の仕事を地域で行うこと	85	4.7
その他	36	2.0
無回答	208	11.6



〈前回調査との比較〉

○平成 21 年度長期総合計画後期計画策定に係る市民アンケート調査結果



図：平成 21・25 年市民アンケートにおける共通設問比較